

ソフトウェア更新情報

Ver10.81 で追加された機能と改善点

Ver10.77 から下記の点が改良されました。

機能	改善	新機能
Repeak を開始するまでの待機時間 (Delay B4 Repeak) が最大 10 分から 60 分に拡張された	○	
Part Discharge を開始するまでの待機時間 (Delay B4 P/Dis) が最大 10 分から 60 分に拡張された	○	
放電開始前にバッテリーの電圧を測定し、9V 以上の場合は放電をおこなわないようにしました (7セルを誤って接続したときや非常に劣化した 6 セルバッテリーを接続した時電圧が 9V 以上になります)。これによって放電用 FET へのダメージが軽減されます。		○
放電開始時に極短時間低電流による放電をおこない、その後すぐにバッテリーの電圧を測定するようにしました。そして 9V 以上の場合は放電をおこなわないようにしました (7セルを誤って接続したときや非常に劣化した 6 セルバッテリーを接続した時電圧が 9V 以上になります)。これによって放電用 FET へのダメージが軽減されます。		○
Repeak で充電された容量 (mAh) が一回目の充電で充電された容量に加算されるようにしました。ただし一度バッテリーを取り外したときや Repeak 時に Part Discharge をおこなったとき容量は加算されません。		○
充電電流の最小値が 1A から 0.5A に下げられた (基盤の改造が必要)		○
SAL の名称が CDAT に変更されました (機能内容は同一です)	○	
SAL(CDAT)開始時にヘッダー情報を PC に送信しないようにしました	○	
Cell Warming の最大設定温度が 40 度から 70 度へ引き上げられました。より柔軟な設定が可能に。	○	
Turbo Increment の最大値が 2A から 3A に引き上げられました。より柔軟な設定が可能に。	○	
充電中に充電電流を大幅に落としたとき、ミスピークが検出されにくくなりました。	○	
充電末期に充電電流を変更できないようにしました (充電終了時に電流を変えると正しいタイミングで充電が停止できない恐れがあるため)。Fallback が 0.02V 以上ある場合は充電電流を変更できません	○	
サイクル充放電時のパラメータ「Delay Discharge」の最低値を 00:00:00 から 00:01:00 (1分) に変更	○	
充電時にキー 2 を押すとファンの OFF/ON ができるようになりました (以前の仕様に戻しました)	○	
Temp Charge の Safety Delta の最低値を 0.01 から 0.02 に引き上げました	○	
Part Charge の最低充電容量が 500mAh から 200mAh に引き下げました。より柔軟な設定が可能に。	○	



kimihiko-yano.net ではプロトラック社と技術的な交流をおこなっています。Ver10.81 で追加された機能の多くは kimihiko-yano.net の試験で完成されたものです。これからも kimihiko-yano.net ではプロトラック社を全面的にサポートしていきます。次期バージョンに関する要望があればご連絡ください。ユーザの力でより強力な充電器に育てていきましょう